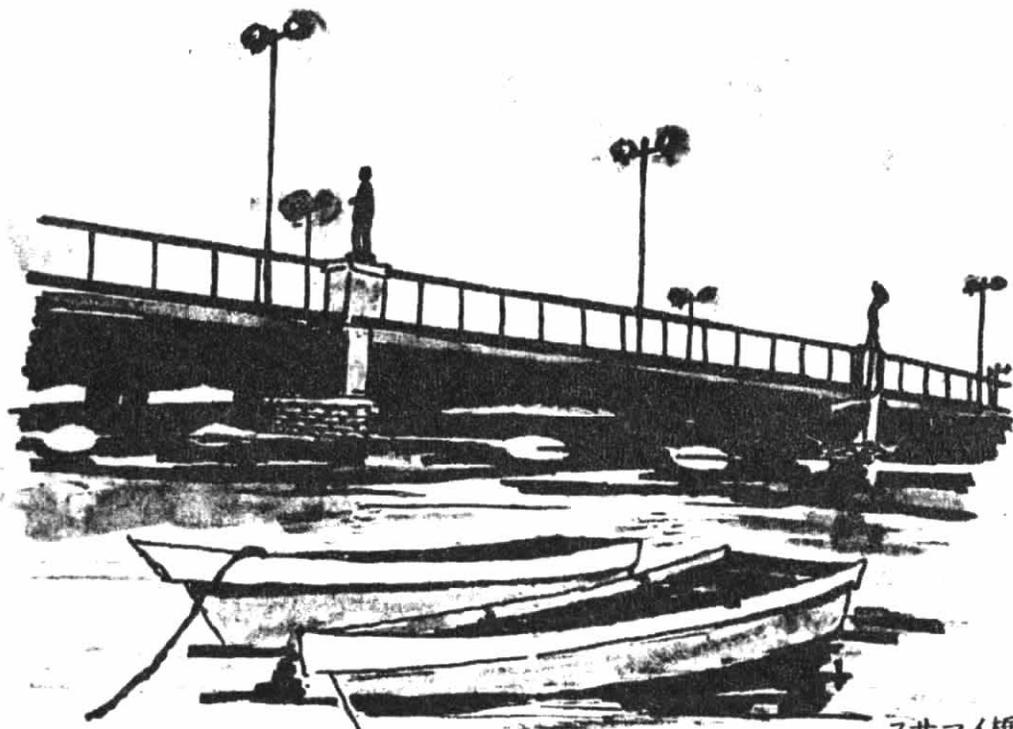


たんちよう

No. 128
11月号

HSK

編集／釧路地方腎友会



スサマイ橋

【目次】

- ・シャント「釧路腎友会あれこれ」会長 竹内 昇 _____ 1・2
- ・道腎協ブロック会議に参加して 副会長 赤神 幸男 _____ 3
- ・子育て奮闘記 林田クリニックスタッフ S・K _____ 4
- ・逝きし友よ安らかに 市立病院 奈良 達也 _____ 5
- ・なみだ目 _____ 協立病院 森野 ひろし _____ 6
- ・恒例花見会 _____ 釧路泌尿器科 東 哲司 _____ 6
- ・ラクダに揺られてパート2 _____ 釧路泌尿器科 横沢 文子 _____ 7
- ・往復14時間揺られて 釧路泌尿器科 _____ 船木 崇子 _____ 8
- ・道東六地区交流会レポート _____ 8
- ・クロスワードクイズ、当選者 _____ 9
- ・会員の動向 _____ 10・11

シヤント

釧路腎会あれこれ

会長 竹内 昇

十月初旬の日曜日、「腎バンク登録者拡大の為に全国一斉キャンペーン」が実施された。釧路地方腎友会では、長崎屋さんをお借りして、三つの出入り口すべてに張りつけてピラを配った。

当日はあいにくの雨模様ではあったが、人出は多く、PR効果は十分であった。

幸いなことにピラを受け取ってくれるお客様も多く、九十%以上の人が受け取ってくれた。また、腎登録についての手続き方法の問い合わせも、私のグループには二件あった。

その後、札幌腎友会のキャンペーンの様子がテレビに放映されたが、そのテレビを見ていた釧路の人が、どこで私の電話番号を調べたものか、自宅に二人の方から腎提供についての問い合わせがあった。

早速事務局を通して登録カードを郵送した。この活動を通して思ったことは、役員以外の会員の協力が多かったこと。移植希望者のために年輩の会員が協力してくれた

ことである。ありがたいかぎりである。前にも触れたように、透析患者の増加、厚生省による治療費の削減等により、われわれ透析患者の治療環境は悪化する一方である。透析患者の増加による弊害として、釧路の透析施設は飽和状態になってきている。看護婦不足も深刻化している。

又、厚生省の政策は、とりあえずは検査の回数を減らしたり、透析の治療費を据え置いたりすることによって治療費を削減してきている。この先さらに削減の政策は続くと思わなければならない。なぜならば、世はまさに高齢化社会であるばかりでなく、不況の風も吹いてきているからである。



このような社会の変化に、いかに対応すべきか——私たち透析患者にとって「生きるための問題」として深刻に考える必要があるのである。

いつも言っていることであるが、私たち患者が「生きるため」には、透析患者同志が団結し、団結の力でより大きな声を張り上げて行かなければならないのである。

会員にならなくても、透析には困らないと思っている人が一人でもいれば、それだけ団結力は弱まり、知らず知らずのうちに私たちの生活は圧迫されることになるのである。非会員の方は、このことを忘れないでほしいと思うし、是非会員になってほしいと思うのである。

全腎協から「署名」の用紙が届いていると思うが、これには是非一人でも多くの署名を集めていただきたい。

このような活動こそが「大きな声」につながり、国会議員の心を動かすことになるからである。

恒例の「年賀状の注文」を受けるシーズンになったが、これも釧路地方腎友会の活動を充実させるための資金となる重要な取り組みである。一件でも多くの注文を受けてほしいと思う。

皆さんにお願いすることが続いたが、今役員会の取り組みとして、次のことが具体化してきている。

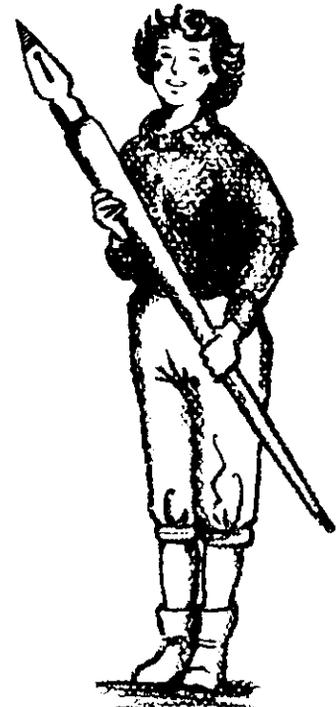
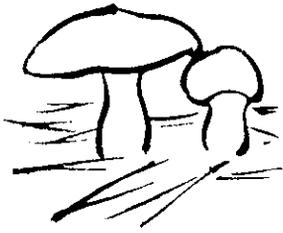
一つは、中標津町、標津町、別海町などからやむなく釧路の病院に透析治療を受けに通っている透析患者のために、中標津町立病院に透析治療を実施してもらうための

陳情を予定している。この件については、上田前会長の時代から取り組んできており、顧問の伊藤道議のご尽力により、透析機械の導入が実現しているが、医師の確保に問題があり患者の受入れができないでいたが、最近、中標津町に新町長が誕生したのを機に、陳情をすることにしたものである。

該当する患者には、中標津町立病院に透析治療が実現した場合に、そちらで治療を受けるかどうかの意志確認をしており、二十名前後の方々が治療を受けるとの意思表示があった。

このことが実現できれば、釧路の病院施設の飽和状態がだいぶ緩和されるのである。尚、陳情は十一月六日を予定している。

さらに、今年度の総会で要望があった「通院交通費増額」についても、事務局長の橋本氏の努力と、顧問の高橋宏政市議のご尽力とご指導により、十一月十日に市役所で、市長はじめ担当部局の幹部と交渉する予定になっている。このことも何とか実現できるように最善を尽くしたいと思っている。



おたより紹介

釧路泌尿器科クリニック

横沢 道彦

四月号のクイズの景品でいただいたボールペンとても役立っています。毎回、クロスワードパズル楽しみにしています。前回の「たんちよう」には、おいしいお店紹介がありませんでしたので、ちょっと淋しいと思いました。リポートも大変ですが、いつも楽しみにしています。

我が家は、車椅子ですぐ入れられる店の中が広い、ホクホーのうどんのおいしい店へ出かけます。(名前は忘れましたが)天井が高くて、広々とした雰囲気がいいです。

平成四年度第二回(通算第三十三回)

道腎協ブロック

会議に参加して

副会長 赤神 幸男

日時 平成四年十月二十四日(土)二十

五日(日) 場所 ホテルユニオン四階

一 開会のあいさつ 津田副会長

二 黙祷

三 会長あいさつ 岩崎会長

四 報告事項

(1) 全腎第六十三回幹事会報告

(2) 各ブロック活動報告(二二二ブロック)

(3) 道腎協前期活動報告

(4) 前期会計報告、監査報告

(5) その他

五 討議事項

(1) 街頭キャンペーンについて

(2) 十五周年記念事業について

(3) その他

六 承認事項

コピーリース機械の入れ替えについて

第一日目、札幌にいたら小雨模様だっ

たので橋本氏とハイヤーに乗りホテルユニ

オンに向かった。受付で手続きを済ませ部

屋に入る。PM二時半。部屋で若干休憩し

ていると上田氏がきて、鉦路勢元氣に揃う。

PM四時より会議が始まり内容のある討議に終始、本場にこれが病人同志の会議なのかと思われるほど熱心であった。しかも情熱のこもった討議には、唯ただ頭の下がる思いでした。食事を途中にとり、束の間も惜しむかのように議事を進めてゆく。

道幹事の皆さんは、自分のことを比較してなのか、共通の悩みからなのか、各ブロックの報告を聞きながら感じたのは、患者会は費用集めだけにあるのではなく、お互いの心の支えになるファイトを持った人々の発掘に心がけようとしているんだと感じました。

二十時まで頑張っていた皆さんが更に、各部屋に集まり、ラフな雰囲気の中で病気の症状についてや、その地区の悩みを話し合っ、とても勉強になることばかりでした。自己管理についても、とても厳しく内容のある話を聞いてうなずいてばかりいました。午後十一時過ぎまで話し合いました。本場に熱心でした。

二日目 朝七時起床。八時食事。九時より会議(役員研修会)

① 鉦路に於ける通院交通費助成運動について

鉦路地方腎友会相談役 上田 弘氏

通院交通費助成に関する規則と通院交通費に関する膨大な資料を用意しておられま

した。さすがに、道腎協の草分け的存在で、先輩として含蓄のあるお話でした。皆話の中引きこまれておりました。

② 活動資金造成活動について

室蘭地方腎友会 佐藤 利國氏

・お祭りのときの屋台

(綿アメ、ラムネ、ジュース)の販売

・夏の花火販売

・お正月のしめ飾り幹旋販売

役員全体や家族の協力で実績が上がる。

足腰が痛むが腎友会の用度品が揃う。

二日も又、発表者も熱心だが、これを聞いてる皆さんも熱心であった。少しで

もいいところを聞いて自分の地区でも取り

入れようと真剣に聞いておられました。

そのため「あっ」という間に十二時になり、事務局の方が話をまとめるのに大変な様子でした。

私も色々な会議に出てみましたが、この

会議に参加している人たちがほど熱意にあふ

れたのを見たことがあります。

本場に皆透析患者なのかなと驚いた次第です。こういう人たちが頑張っている腎

友会って素敵だなあと心の中も充実感でいっぱいでした。

子育て 奮闘記

林田クリニックススタッフ S・K

うちには八才と五才の子どもがいます。下の子が三才の時、私の妹と同居することになり、再度仕事に出ることになりましたが、夜勤もあったので大変でした。子どもたちも、一年くらいはよく体調をくずして熱を出したりしていました。二年も過ぎた頃でしょうか、月曜日、私が夜勤明けで家にいると上の子が学校から帰ってくるなり一言「よう、お母ちゃんひさしぶり」といって、とっとと外に遊びに行ってしまうました。

あとを追われたり、泣かれたりするよりはいいと思っても、逆にそういわれてみるとなんだか寂しい気がします。

又、しばらくすると、上の子や夕食後、「今週もう泊まりないの？」と聞くので、寂しいのかなと思いつつ「ないよ」と答えると「なんだ、うるさいから泊まりに行けばいいのに」と言うのです。

ショックでした。私は、夜家にいな

い分注意しようと、子どもたちにうるさく言い過ぎたようです。そういえば、初めて考えてみると、子どもの顔を見ては怒鳴ってばかりいたように思います。たぶん心の中で「あそこの家は共働きだから……」と悪いほうにいわれないうように、そのことに気がいきすぎているのでしよう。それからは気をつけるようにしています。



この間、学校で上の子が日常生活についての作文で「ぼくの弟は、ぼくの小さい時と同じでお年玉をもらってもお父ちゃんに使われてしまいました。今はお母ちゃんが通帳を作ってくれたのでとられません。」と書いていたのです。

又、子どもたちの成長を見ながら、それに合わせた怒り方というか注意の仕方もある。その子その子によって違うものだと思う。そのことをひとつ。

下の子が三才の時、原因は忘れましたが兄弟ゲンカをした時に、平等に叱った

のですが、夕食の時まで機嫌が悪いので、いい加減にしなさいと注意すると、食卓を足で蹴ったのです。それを見て、私もカーッときて、子どもの衿首をつかんで玄関まで引きずっていき、途中で泣いてあやまっても許さず、裸足のまま外に出てカギをかけたのです。

外は真っ暗で恐ろしかったのでしよう。泣いて「もうしないからごめんさい。」と言ったのですが、それでも少しそのままにしておくと「おしっこ出る、もれる。」と言うので鍵をあげると、間に合わなくて漏らしてしまいました。

廊下で着替えさせようと服を持ってくると、服を着替えながら「お母ちゃん、お父ちゃんかえってきたら言うてやるかな。おれをいじめるって。」としゃくり上げつつ言ったのです。

その言い方があまりにも可笑しかったので怒るよりも笑ってしまいました。自分が悪いことをして怒られたとは思っていなかったようです。

子どもに教えたり、教えられたり、どちらかという、後の方が多いいと思います。うちには主人も祖母もあまり叱らないので、私が一番の嫌われものです。

逝きし友よ

安らかに

市立病院 奈良 達也

「寛山勝道居士」平成四年八月八日、我等が友「小山勝男氏」の名前はこう変わった。「戒名」である。

月余の、杜絶な闘いの、あまりにも残酷な終幕でもある。

真冬の二部透折終了後、弟さんの子どもである小学生が出席するアイスホッケーを応援のため、俺の車に便乗しアイスアリーナに入っていく後ろ姿を見ながら、その元気に感心したのはついこの前の事であった。

レクレーションには常に積極的に参加し、先頭を歩きなお且つ他人の分の荷物まで持って感謝され、称賛の言葉を聞いたのも今年の事であった。

誤解が元で他の仲間内にはさかいかいが生じた時「俺たちは普通の人たちとは違う特別な仲間ではないのかい、そんなことでどうするのさ。」と赤ら顔になりながらも中に入り、収めたのも普段は冗談と笑顔ばかりの「小山さん」であった。

そんな我等が友の明るく強靱な心身に俺は常日頃、尊敬の念さえ感じていた。そんな友が闘病生活を強いられた時、

きつと克服するだろうと俺も信じていたし、又、本人も絶対に勝って見せると思っていたに違いなかったであろう。

現実には残酷であった。あまりにも……

俺が弟さんから聞いた友の最後のことは「俺もつこわい」であったそう……

敗北を覚悟した友がその時、何を思ったか、無論俺には知るよしもない。

只、さぞかし無念であったろう、悔しかったであろう、その心中……察するにあまりあり……神は何故、友を呼んだのかあ……

計報を聞いたのは自分の透折日、つまり命日の次の日であった。その日の透折室、いつもとなんら変わらなかった。我等患者は今日もただ無事に早く終わることだけを思い、スタッフの皆さんも厳しく優しく患者に対応した。無論、そんな雰囲気批判する気など毛頭ない。当たり前のことである。

只、俺は忘れまい、特殊なところで知り合った本当によき友の事を……

俺にもいつか襲ってくるであろうか？

その時、我等が「小山さん」という人が精一杯頑張ったことを……



おいしい店



今回はおいしいケーキ屋さんの紹介です。開店は59年11月です。お店の名前は「フランダース」。ケーキでお客さんが10人ぐらい入ると店内は明るくきれいで、おすしめは「マカダミアン」、「シュークリーム」「チーズケーキ」の種類などなど。クリスマスケーキの予約もあります。今流行のプレゼント用でリボンがついたかわいい物も用意してあります。

営業時間は午前10時～午後10時まで
場所は丸三新館の裏です。
TEL 25-1555

なみだ目

協立病院 森野 ひろし

眼が疲れて困るようになった。眼鏡も合わなくなつたので眼科にいつて診てもらつた。「眼がすごく疲れるんです。」

「とてもいい目です。眼鏡を新しくすればいいでしょう。透折していると飲んでいる薬が多いでしょ、何種類くらいですか。」

「胃の薬も入れて九種類くらい。」

「それでは何とも言えませんよね。」

眼が疲れるのはからだのせいであることは確かだろう。でも、そういうことがあつてから眼科へ行くのが億劫になつた。

眼鏡を新調して少し楽になつた。だが、ごみが入つたわけでもないのに眼がごろごろして涙がぼろぼろ出てくる。

「家内に話すと、もう年だからね。」

そう言われても納得できるものではない。勤めに出ていともきたま涙が出てきて拭きながら仕事するのはカッコが悪い。

ある日、新聞を見ていると、海方メがタマゴを産みながら、涙をぼろぼろ出しているのを、そばで見ている子どもが「塩分の調節をしているのね。」そんな漫画が書いてあつた。「なるほど、そういうえは——」

次の透折の目、看護婦さんが

「どこも変わったことはないですか。」

「身体は快調なんです。でも眼が疲れてどうしてか涙がぼろぼろでて困るんです。」

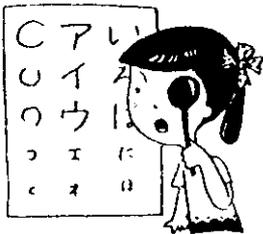
「ん——？」「涙を出して塩分の調節をしているのでは。」

「まさか——」

病院から目薬を出してもらつた。一日何回かさしている、眼は楽になつたがまだ治るところまではいかない。

「眼科へ行くのはどうも——」

あの日以来どうしても眼科へは足が向かないのである。



恒例花見会

釧路泌尿器科 東 哲司

平成四年度の釧路泌尿器科クリニック恒例花見会が、六月七日(日曜日)曇り空の中、少々肌寒い感じがする日に盛大に行われた。

参加者は、久島医院長はじめ患者、家族スタッフ五十人以上になりました。

春採湖畔のバーベキューコーナーを三分の一ほど貸切りにして、厚岸産力キ二百個はアツという間に無くなりました。

アサリの酒蒸し、魚、ジンギスカン。サガリなどなど。焼きソバは久島院長の十八番なので、一気に売り切れました。

腕前がいいのか、麵がいいのか? 食べられた皆さんは、目瞭然でしょう。

食後のデザートに、まだ出始めのスイカ、これがなたなんと甘くてみずみずしくてとってもおいしかったデス。

皆さんとっても大満足な顔で三時間ちょっとの時間を過ごしました。

協力してくれたメーカーさん、幹事さんご苦労さまでした。次回も又よろしくお願ひします。

ラクダに ゆられた

その二

鋤路泌尿器科 横沢文子

前回書いた、サウジ旅行の様子に反響がありましたので、続きを書きたいと思
います。

サウジの夏は四十度から五十度の毎日
で、湿度が低いから生きていられる様
なもの。それでも、私は「ビールが飲
みたい」とつぶやいてしまう。

ビールが飲みたいのなら、サウジエ
アライン以外の飛行機に乗ると機内食で
いてくるそう。義兄は、アルコールが好
きではないので苦痛でない様だが、他の
人たちは仕事が終わるとすぐ出国す
るそうです。

野菜や果物はとても豊富で、また甘く
ておいしい。メロンはとて安く買える。
ところが、ゴボウだけは売っていない。
ゴボウってあまりおいしいものじゃな
いけど、日本食には欠かせません。
五日ご飯や豚汁などには必需品。

変わっていると言えば、汽車に乗るの
も大変。当日券というのがなく、前日に
発売。定刻五分前にアナウンスなしで発
車する始末。

でも、あわてるのは日本人の私くらい
かな。どの人もゆったりと暮らしている。
リヤド駅は、東京駅のような中央の駅。
でも、大きさは鋤路駅の三分の一程度。
そして、目を見張るのは大理石ででき
ているということ。

イスラム教の国なので五月にはラマダ
ンがある。太陽が出ている間は飲み食
いできず、煙草もだめ。大体朝三時から夕
方六時三十分頃まで。これが、二十九日
間続いた。その後、七月には無事ラマダン
が終わったという。聖地メッカへのお礼
参りのハジ休暇がある。これが、約一カ
月。その間、仕事もほとんど手につかず、
官庁も休み。

普段義兄は、八時から一時まで働き、
一度帰宅。昼食、昼寝をし四時から七時
まで働くというパターン。

でも、ラマダンの間は九時から一時頃
までの勤務。そのうち、会社自体がラマ
ダン休暇に入るため、ヨーロッパ方面へ
出国するそうです。日本に来るといいの
にと思うが、飛行機の便数が少ないし、
出入国の手間が大変らしい。

更に予算のこともあってイタリア、ス
ペイン、エジプト、スイス等へ出かける
らしい。

本当に不思議な国であるが、もう一つ
わからないことがある。時々であるが手
紙を書き送る。手紙だけなら一週間か十
日後に着く。ところが、写真を入れて送
ると、どうしても届かない。日本から出
しても届かないし、サウジから出しても
届かない。一度郵便局で尋ねたことがあ
ったが、手紙の検閲はこの国にもないら
しい。でも、写真だけ抜き取って手紙だ
けが届くのは、どうも気持ちの良いこと
ではない。二三日ずらして投函された手
紙が、後から出した手紙より遅くなった
りすることもしばしば。

日本に帰ってきてビールを飲みながら
思った。多少税金が高くて、雪が降り、
桜が咲き、わずか二三日の夏を楽しみ、
紅葉が見られる鋤路が一番ということ。

と、言うようなことを、サウジ滞在四
年目の姉夫婦からの手紙をもとにして書
きました。

今年には帰国予定ですが、ラクダを二
頭、町中で開かれている市場で買ってき
てほしいと思っています。

一頭には金のくらをつけ主人が乗り、
もう一頭には銀のくらをつけ私が乗り、
砂嵐も戦争もない鋤路の町を歩いてみま
しょう。

—— 全国大会に参加して ——

往復十四時間

揺られて

釧路泌尿器科クリニック

船木 孝子

今回の旅行は、正直いって、ただ疲れ
たという感じです。

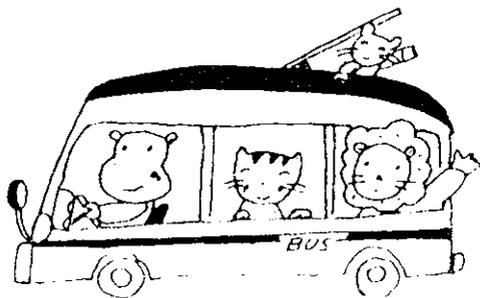
私たちは、釧路泌尿器科クリニック六
人と日赤病院の花輪さんと七人で池本さ
んのキャンピングカーに乗って行っ
てきました。

往復十四時間、車に乗っている時間が
多く、横になったり、ビデオを見たりと
長い道中でした。夜は暑苦しくてな
かなか眠れませんでした。それでも四時間
は寝たでしょうか。次の日は大変でした。
総会の会場では睡魔に襲われて、何が
何だか分からないうちに終わってしま
いました。分科会も出席できず、早めに札幌
教育会館を後にしました。

もう少し時間の余裕があったら、札幌
市内を歩けたのに少し残念です。

本州から来られた人もたくさんおられ
ましたが、私より長旅をしてきたのに疲
れも見せず、皆、明るく元気なのは驚
きました。

私にとっては、ただ疲れただけの旅行
でしたが、同じ病氣を持った人がこんな
にもたくさん集まり、年一度の総会に出
席できたことは本当に幸福なことと思
います。



道東六地区

交流会リポート

先日の十月十七日、十八日の二日間、網
走・ビューパーク悠遊亭において道東六地区
交流会が開催されました。

釧路では役員中心に参加するという年度
当初の方針どおり、役員五名と会員四名の
計九名が参加致しました。

北見・十勝・網走・根室から七十を越え
る仲間が集まって交流をしました。

午後六時から交流会が始まりゲーム・カ
ラオケと楽しいひとときを過ごし、八時か
らは希望者が集まって学習会が行われまし
た。腎キャンペインのあり方などについて
意見が交わされました。

この学習会のような取り組みは、今後も
続けていくことが確認されました。

次の日は、また来年も集まろうと約束を
して帰ってまいりました。

来年は釧路が当番になっていますので、
釧路の会員の皆さん、ご協力よろしくお願
い致します。

【会員の動向】
(新患者)

千葉 サカエ

釧路市

宇美 繁子

目梨郡羅臼町

上田 トヨ

野付郡別海町

浅野 美佐子

目梨郡羅臼町



福岡 麗子

厚岸郡厚岸町

吉川 晴久

標津郡中標津町

前川 文雄

釧路市

池田 健

釧路市

福田 広子

釧路市

中道 ひろみ

釧路市

武田 徳子

釧路市

小野 ミチ

釧路郡釧路町

五十嵐 悟

釧路市

山本 健一郎

白糠郡音別町

井上 義夫

釧路市

